

3月10日：ベトナム株は4日ぶりの下落

ベトナム株は4日ぶりに下落となった。直近上昇していた銘柄への利益確定売りが増加した。

ホーチミン取引所のVN指数は0.28%安の1,053.00ポイントで取引を終えた。同指数は直近の4営業日で3%ほど上昇していた。

幅広い銘柄が売られ、256銘柄が下落し135銘柄が上昇した。

出来高は5.09億株で売買代金は8.7兆ドンだった。

今後も上下が予想されるが、1,070-1,090ポイントに向けて徐々に資金流入が期待されるとロンベト証券は予想した。

そのため、投資家は反発を期待できる。ポジティブなトレンドは継続しており、下落した際には投資のチャンスとなるだろう。しかしテクニカル的な反発の可能性もあるため、投資比率はある程度に保つ必要があると同社は語った。

VN30指数は0.29%安の1,047.20ポイントで取引を終えた。8銘柄が上昇したのに対して20銘柄が下落した。

銀行セクターが大きく下げた。CTG、ACB、TPB、NVB、MBB、TCB、STB、BID、VCBといった主要銘柄が下落した。

唯一上昇したのはVPバンク（VPB）だった。

エネルギーセクターも振るわなかった。また、証券セクターも引けにかけて下落し、相場を押し下げた。

セクター別では、25セクターの内の23セクターが下落した。

ハノイ取引所のHNX指数は0.56%安の207.86ポイントで取引を終えた。

出来高は6,600万株で売買代金にして9,760億ドンだった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。